にこにこ新聞

Vol.108　2021 年
「必要重要」な旅
特集号

発行人：篠塚恭一
編集：SPI 管理部

こんにちは。
あ・える倶楽部の篠塚千弘です。
新型コロナウイルス感染症のために、お客様の旅行や外出の希望に沿えなくなっていた間、ターミナルの方の人生最後の旅行、ご家族との最後の団らん、など、「覚悟の旅」や、コロナ禍での引越しや移転など「必要重要」な移動などを通して、トラベルヘルパーでお客様のために何ができるのか、私たちができることは単に「旅行」だけではなく、「生きがい」「心の繋がり」のお手伝いだ、ということに改めて気づきました。
「最後まで自分らしくありたい」という多くのお客様の願いを受けとめて、これからも、「人生終盤」の多様なニーズに応える新しいトラベルヘルパーサービスを続けてまいります。

コロナ禍の中、密を避けて思い出を作りたい「静かな時間と温泉旅行」

三名のお客様の個人温泉旅行。移動はジャンボハイヤーと新幹線です。
ＪＴＢ様からのご依頼でトラベルヘルパーがご一緒しました。
津和野駅では、「昔はこの駅は小郡駅やったなぁ。ここからＳＬに乗って津和野に行ったわ」と。

津和野の街並みの深堀を優雅に泳ぐ錦鯉の中から、ハート模様の鯉を探すのに熱中されていました。

太鼓谷稲成神社では、50段ほどの階段を宮司さん３人がお手伝いくださり、上り降りすることができました。周囲の方の暖かいお手伝いに感謝です。

松陰神社では、真剣に宮司さんのお話に耳を傾けていらっしゃいました。

元乃熊稲成神社の急勾配のスロープでは、トラベルヘルパーが力の見せ所！十分に発揮させていただきました。

Copyright(c) 2021 SPI JAPAN All Rights Reserved.

青空のもと、青海島観光。

温泉では、両足を浮かべ、身体を浮かせてながら会話が弾みました。今までの人生のお話しや、昔話、時には奥様にはお話し出来ない男子トークなど！朝風呂、露天風呂と、温泉を充分に楽しんでいただきました。

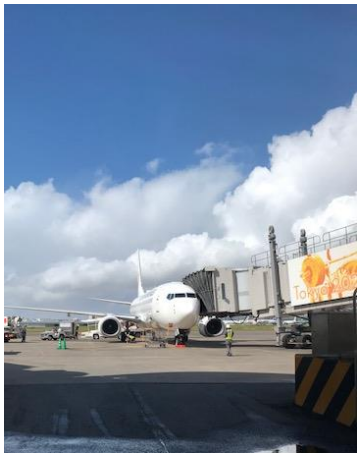
コロナ禍で、生活に制限がある中、密をさけ、感染防止対策をしっかりして、大事な方との時間をゆっくりと過ごしていただきました。

コロナ禍での【必要重要】な外出だから万全を尽くしたい。ストレッチャーに横になったまま飛行機に搭乗し千葉から徳島へ移転。

御子息から「千葉のホームに入居している父を、転勤先の四国に呼び寄せたい」というご依頼です。遠くに住むお父様を心配して転勤先の徳島に呼び寄せたい、コロナ禍での移動、安全と安心を最大限に考慮して万全を尽くしたいと、あ・える倶楽部をご利用されました。

ストレッチャーのまま飛行機に搭乗するためのチケット予約、必要な事前の手続き、介護タクシーの手配、コロナ予防対策を万全に、トラベルヘルパーが移転のお手伝いをさせていただきました。

航空機下（制限区域）まで介護タクシーで乗り入れるため、スタッフ三名が介護タクシーに同乗して手続き。ゲート手前で、保安官と警察官のセキュリティチェックの後、無事、搭乗できました。



1時間15分ほどの飛行中、だいぶ揺れましたが、無事徳島空港に到着、介護タクシーに乗り換えて、体調良好で、移転先ホームに無事到着。お父様、ご子息、送り出し

Copyright(c) 2021 SPI JAPAN All Rights Reserved.

たホームスタッフ、迎えたホームスタッフ、みんなほっとしました。安心安全なお手伝いを無事に完了できました。

コロナウイルスのために延び延びになっていたご主人の納骨に東京から兵庫へ。「ああ、やっとここに帰って来れたのね」

コロナウイルスのために、延び延びになってしまっていたご主人の納骨のために、東京から兵庫へのご旅行です。

お客様にとっても数十年ぶりの帰郷でした。

高台の墓所に先祖代々の墓があり、その一つ一つの名前を懐かしそうに読み上げていらっしゃいました。

無事納骨を終えると、様々な思いが一気に溢れたご様子で、涙を流されながら、「ああ、やっとここに帰って来れたのね」と仰ったそのお言葉がお客様のお気持ちのすべてを語っているようでした。

ご家族の大変重要な場面に立ち会わせていただき、お手伝いができたことに、ご縁を感じるとともに、深く感謝をいたします。

また、移動中、窓の外を眺めながら、「外はいいわね」と何度も繰り返し仰いました。

お嬢様の住む街へお引っ越し。タクシー、特急、新幹線を乗り継いで、周りの力を合わせて、無事に、ちょこっと旅行気分も味わいながら、転居していただきました。

札幌に住んでいるご両親を、お嬢様家族の住む盛岡への転居のお手伝いをさせていただきました。介護タクシー、特急北斗、新幹線はやぶさを乗り継いで、お引っ越しです。

特急北斗からの外の景色を眺めて、外はいいな～、と、ステキな笑顔を見せて下さいましたので、マスクを取ってパチリ。

新函館北斗駅で新幹線はやぶさに乗り換えます。

カニ飯の駅弁を買って、はやぶさの中でお昼です。「うまいなー」と箸が進んで完食されました。

閉塞感ばかりでしたが、移り行く景色を眺め、駅弁を車中でいただき、ちょっとは旅行気分を味わっていただけたでしょうか。

新しい街での新しい生活、最愛のお嬢様がお近くでいらっしゃる安心、これからの暮らしに思いを馳せていらっしゃいました。

後日、札幌のホームスタッフの方からメールをいただきました。

この度は本当にありがとうございました。

私たち職員にとって、ご本人とご家族の再会のお手伝いは、このご時世

Copyright(c) 2021 SPI JAPAN All Rights Reserved.

本当に価値あるものだと考えております。

「あ・える倶楽部」さんのサービスを知ることができ本当に良かったです。

トラベルヘルパー中島さんのご対応にも本当に感謝しています。

スタッフ一同本当に感激しています。

ありがとうございました。

こちらこそ、お忙しい中、丁寧な申し送りをありがとうございました。

ご家族、札幌のホームスタッフ、盛岡のホームスタッフ、介護タクシー会社様、JRスタッフ、皆様の力を合わせて、無事、安全に、そして、ちょこっと旅行気分も味わいながら、転居していただけました。

年に一回のご主人のお墓参り。「やっと来れたわ来年のためにリハビリプランを変えてもう少し階段を上がれるようにならなきゃ。」

年一回のご主人様のお墓参り。今年はコロナウイルス蔓延で不安、と、トラベルヘルパーをご利用いただきました。

ご移動は新幹線です。道中はぐっすりお休みになられていました。

お寺に到着すると「やっとこれたわ」と涙を浮かべられる場面が何回かありました。

念願のお墓参りをされてほっとされたご様子です

「あなたがいたからここまで来れた。色々お話しできたし楽しかったわ。また来年もお願いするわね。ケアマネージャーに言ってリハビリプラン変えてもらわなきゃ。もう少し階段上れるようにならなきゃね。もっと歩けるようになるから一緒にまた行ってくださいね」と、トラベルヘルパーと来年の再会のお約束をしました。のんびりゆっくり頑張ってください。再開を楽しみにしています。

【編集後記】

【マネジメント倶楽部・2021年10月号 今月の深読み！】に掲載されました。

介護付き旅行事業のパイオニア　SPIあ・える倶楽部　篠塚恭一さんに聞くコロナ禍で見えた「旅行」の持つ意味と題して、新型コロナウイルスの感染拡大で、旅行に気軽に行きたいのに行けないという生活を味わいましたが、「高齢者や障害者の方は、かねてよりそうで、あきらめていたんです」と、コロナ禍で見えてきた、オーダーメイドの「介護付きの旅行」の持つ意味や効果についてインタビューで語っています。

これを読みとるとみられるよ＾＾

株式会社 SPI あ・える倶楽部　✉tabi@aelclub.com
〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 3-24-11
Tel:03-6415-6480 Fax:03-6415-6488

トラベルヘルパー（外出支援専門員）®は、
介護技術と旅の専門知識を備えた
介護旅行のプロフェッショナルです

↓毎日更新中↓

Instagram　あ・える倶楽部 HP　NPO 日本トラベルヘルパー協会　トラベルヘルパーマガジン

A'EL Act, Ease, Love あ・える倶楽部

当メディアに掲載されている全ての画像・文章・情報等は著作権により保護されております。著作権の許可なく内容の全て又は一部をいかなる手段においても複製・転載・流用・転売・複写等することを固く禁じます。

Copyright(c) 2021 SPI JAPAN All Rights Reserved.